				令和	3年月	茰	事務	事業	評価シー	- 	[令和	2年度事後記	評価]
	番号		06											
部局	高 名	都市計画	画部		所 属	名	都市計画	i課		所属	禹 長	坂本	和好	
事務事			都市景	鼰形成推進事業						記り	人者	木村	光義	
< 1.	基本事	項>												
	区分	コード			名		称			根	+bn		は・古都保存法	
40 A =1	方針	02	自然、	歴史、文化、スポ	『一ツを重	望視し、	多くの人	が集うま	ちを創り	法令		中計画	国法(風致地区	.) 寺
総合計画の位	政策	03	悠久の歴	歴史と文化を大切]にし、次	代に組	継承します				1 -7			
置付け	施策	02	湖都に	ふさわしい景観づ	うくり					目 '声			景観計画、古	
	視点	01	次代に	引き継ぐ景観づく	Ŋ					関連 個別		津の風	鼠格ある景観を ≿計画	つく
	重事	01	都市の多	発展と調和した景	観形成					100 75 3	ш	る金子	·ni 🖴	
即出		ード			事 務	事業	と 名 称			=-	ード		所属名称	
関連 事業	00	760	屋外広行	告物景観推進事業	ŧ _					13	03	都市計画課		
7.7	019	900	都市景額	鼠施策促進事業						13	803	都市計		
予	会	計	枠	事業種	別		予	算 事	業名			始身	期・終期	
算	一般	会計	管理	管理 評価対象事業 都市景観形成推進事業費										
事 業														
美														
事業の 概 要	・古都ス	大津の美	しく風格	かとして、景観絵 各ある景観づくり その意見を景観施:	を推進す	るため	、景観法や							
運営	方法	■ 直営	∮ □	指定管理者 🛘	民間委託	: [」出資団体	委託	□ 補助金交付	□ その)他 ()
<2.	事業分	折> F	PLAN	-										
	目 的]	良好な影	景観の保全と新た	:な都市景	観の倉	創造を図る?	ため						
(何	可のため	(=)												
	対象	Į.	豊かな目	自然的景観・風格	ある歴史	的景観	現及び自然	・歴史と	調和した都市景	観を創出	出する			
(何	可又は誰	を)												
	手 段	ž		ナの景観絵画展に						や古都供	禄存法 等	の法令	に基づく規制	誘
(どの。	ようなやり	/方で)	導により	り古都大津の美し	,く風格あ	る景観	見づくりを	推進する						
	成 集	Í	都市の射	魅力の向上と、ま	ちに対す	る市国	民の愛着が	育まれる	ことになる					
(100 1 7	- 4-10-461-	+ 7 @ I.\	1											

(どのような状態にするのか) <3. 経費> DO

<u> </u>	性負/ ひひ						
		平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	V HI -7-5
直	接経費 A	1, 640	1, 348	1, 866	6, 750	8, 861	
人	.件費B	10, 226	9, 178	13, 354	20, 734	20, 734	
事業	費合計 A+B	11, 866	10, 526	15, 220	27, 484	29, 595	
	国	0	0	0	2, 535	3, 588	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源 内 訳	起債	0	0	0	0	0	
PJ D/C	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	11, 866	10, 526	15, 220	24, 949	26, 007	
職	員数(人)	1. 40	1. 26	1. 76	2. 66	2. 66	
마 무 *-	正規	1. 20	1.06	1. 55	2. 45	2. 45	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	
しつとうさん	臨時	0. 20	0. 20	0. 21	0. 21	0. 21	

<4. 指標> DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度				
		景観計画区域内行為届出又は事前	件	目標	200	200	200	200	200				
活	1	協議件数	IT	実績	203	177	219	-	_				
動指		景観法に定める景観計画区域内行為の届出又は事前協議の件数											
指標		市民啓発事業等の開催数		目標	2	2	2	2	2				
7 2	2		ī	実績	3	2	2	-	_				
		市民啓発事業等の開催数											
		適合通知率	%	目標	90	90	90	90	90				
成	1		70	実績	99	99	100	-	_				
成果指標		景観計画の指導の結果、適合通知を行った届出件数に対する割合											
指		景観絵画展への作品出展数	1	目標	300	300	300	300	300				
標	2		^	実績	468	794	556	_	_				
	市民啓発事業である景観絵画展への作品出展数												

< 5. 評価> CHECK

V О . Н ПР									
事業を明 社会環境	取りまく 竟の状況		観形成にかかる意識については、啓発活動の継続により序所に浸透しつつあるものと考えら 年以上経過した大津市景観計画の改定の検討が必要とされている。						
	の見直し 等の経過		地域で新たな高度規制を実施。古都大津の景観形成においては、市民との協働による取り組 ことから、啓発活動や協働による景観ルールづくりを基本とした施策を推進していく。						
項目別評価	評	価	評 価 理 由						
	■ A. 妥当	当である	景観保全や景観形成には市民の理解が必要であり、市民との協働による取り組みは必要で						
妥 当 性	□ B. ほ!	ぎ妥当である	ある。また、法令や条例に基づく規制誘導、市民への啓発は市が担うべき役割である。						
(実施主体又は手段は妥当か)	□ C. あa	まり妥当ではない							
712022	□ D. 妥≌	当ではない							
有効性	■ A. 上 <i>t</i>	がっている	景観法に基づく届出については、目標値を上回る適合通知率の継続ができている。また、						
(事業分析の 「成果」 欄に	□ B. やも	た上がっている	景観絵画展も目標を大きく上回っており、一定の成果は上がっている。						
記載の成果は	□ C. あa	まり上がっていない							
上がっている か)	□ D. 上#	がっていない							
	■ A. 高い	1,	市民の景観保全、形成に対する意識の醸成には時間を要するが、限られた予算の中でより						
効率性 (事業手法は効	□ B. やt	冷高い	効果的な啓発事業の展開に努めている。						
率的である	□ C. やt	ら低い							
か。)	□ D. 低い	Α.							
総合評価	■ 1. 計画	国どおり事業を進める	□ 2. 事業の進め方に改善が必要						
松口計画	□ 3. 事業	業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要						
	■ A. 貢献	ポしている	景観まちづくり施策は、長期的な視点と継続的な啓発活動により達成されるものである。						

70 D D D		景観まちづくり施策は、長期的な視点と継続的な啓発活動により達成されるものである。
		よって、当該事業の継続は、将来に引き継ぐ古都大津の景観保全・形成に貢献しているものと考える。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	いこったる。
	□ D. 貢献していない	

	□ □ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
<6. ≤	↑後の方向性> ACTION
方向!	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止 法令に基づく適正な規制誘導及び効果的な啓発事業を継続実施し、良好な景観の形成及び保全を推進する。また、大津市景観計画は策定後 1 0 年以上が経過しており、社会情勢も大きく変化していることから、時代ニーズに対応した適切な見直しを行う。
部 局 <u>5</u> コメント	

| **<7. 評価分析>** ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区《	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	110.00 %	110.00 %	111.11 %
達成率	指標2	156.00 %	264. 66 %	185. 33 %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	+1.01 %
増減率	指標2	- %	+69.65 %	−29. 97 %
活動単位	指標1	58 千円	59 千円	69 千円
コスト	指標2	3, 955 _{千円}	5, 263 _{千円}	7,610 千円
成果単位	指標1	119 _{千円}	106 _{千円}	152 千円
コスト	指標2	25 千円	13 千円	27 _{千円}
コスト増	減率	- %	-25.85 %	+68. 47 %

古双古坐动压。

整理	悉号	3	07	一行 1	加	3年)	芟 事	務	事業	評価	しシ	ノート		[令和	1 2年	- 度事	後評	[価]
部局		都市計画		<u> </u>		所原	多 数 1	計画	ī锂			所同	属 長	坂木	和如	17		
事務事				見施策促:	准車業	171 7	E TO HIVI	101100	1111			記 2			十光			
			即川以田	沉心 宋 (正)	医学术							同じノ	1	八个	」 ノレき	戈		
<u> </u>	基本事					<i>P</i>		エケ						보원	13± -	- ≠77 +	きゅうに	c] t/女
	区分	コード		= +	//. 	名 。… <i>+=</i>		称	18# > J	L + + & 1		根	拠	景観法、古都大津の風格 ある景観をつくる基本条				
総合計	方針	02					直視し、多く		か集つる	よろを剧り	り	法令	· 等	例	731 170 0	`	Ψ±.,	1 21
画の位	政策	03					欠代に継承し	ます										
置付け	施策	02	湖都に	ふさわし	い景観で	うくり						問事	+ Z	大洋	市景智	視計画	Ī	
	視点	01	次代に	引き継ぐ	景観づく	り						──── <mark>──関連する</mark> ─────個別計画						
	重事	01	都市の多	発展と調														
即法	П	ード				事 務	事 業 名	称				П	- F		所	属	名 称	
関連 事業	00	759	都市景観	見形成推	進事業							13	03	都市	計画語	果		
- Ja Ne	00	760	屋外広台	屋外広告物景観推進事業						13	03	都市	計画語	果				
予	会	計	枠	事	業 種	別	予算事業名						始	〕期 「	• 終	期		
算	一般	会計	政策	評価対象	東事業		都市景観施	策促i	進事業費	,								
事																		
業																		
							おいて歴史											
事業の							が調和した			推進する	51=8	り、景観アド	バイス	く制度 を	を新設	し、	Γ	
概要	近江新/	(景ルー	ル」に基	つき良好	fな景観	形成に回	けた方針を	英討?	する 。									
運営	方 法	■ 直営	ž 🗆	指定管理	理者 口	早問季記	· 口出資	引休	委 託	□ 補助	全心	E付 □ その) 他	()
	事業分		PLAN			KINXI	, ши	C III PT	- V III		<u>, ,</u>		י פון ל	\				/
	すまり 目 的				市機能と	· 古都之	としての景観	保全	とが調ま	ロレナまた	ちづ	くり促進のた	- <i>X</i> D					
	可のために		N III C V	о сорын			- 0 (0) //(//		C 70 II/3 1	10720	_	· / /c.z//						
	対		本市の∜	h 试 性 典 :	かかまた	たみわ	白然的。歴	中的	理情 とき	国和 ナーコ	‡ ts 7	かみ暑組を仰	로수 1	形成す	<u>ح</u>			
	対しては誰に		74111072	本市の地域性豊かなまちなみや、自然的・歴史的環境と調和したまちなみ景観を保全し形成する														
	·	- : 	景観づくり重点推進地区(堅田・坂本地区)におけるまちづくり活動支援の展開、都心地区における良好な景観							ı								
	ナ ¤			戦力と9星点推進地区(宝田・坂本地区)におけるよりフとり活動又張の展開、郁心地区における良好な京観 成の手法として都心景観路の周知、近江新八景ルールへの提言に基づき景観アドバイザー制度を実施する														
	成果		古邦大学	まに こ さっ	h L I N표	1枚 ホス=	まちなみが形	成士	カス									
			1 40 /C/-	キにかでん	1700.75	י פי ניט חויא	K 27 40 KM 113	19C C	100									
	な状態に																	
< 3.	経費>	סט	}` 0	0.左击	ᅲᄼ	1.左床	<u> </u>	+ 1	∧ 1n	0左击		. 10 A 左 広				_		
				0年度		31年度 5/4 円×	令和 2年			3年度		和 4年度			備	考	÷	
	· + + ^ = =	<u> </u>	决 昇額	(千円)		(千円)	決算額(千			(千円)	見x	込額(千円)						
	接経費			2, 616		4, 333		060		2, 750		850						
	. 件費			13, 506		13, 245		611		16, 071		16, 071						
事業3	費合計 4			16, 122		17, 578	14,	671		18, 821		16, 921						
古光串	_	E .		599		531		0		0		0						
事業費 の財源		<u></u>		0		0		0		0		0						
内 訳		債		0		0		0		0		0						
		の他		0		0		0		0		0						
		財源		15, 523		17, 047		671		18, 821		16, 921						
職		(人)		1. 80		1. 75	1	. 76		2. 06		2. 06						
職員数		規		1. 60		1. 55	1	. 60		1. 90		1. 90						
順貝剱の内訳		託		0.00		0.00	(00 .		0.00		0.00						
		時		0. 20		0. 20	(). 16		0.16		0. 16						
<4.	指標>	DO																
		指	標	名		単	位	目標	・実績	平成30年	F度	平成31年度	令和	2年度	令和	3年度	令和	4年度
	地域との	り協議回	数 数						目標		8	8		3		3	3	3
						1	쁘										-	

	/	指標名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度					
		地域との協議回数		目標	8	8	3	3	3					
活動指標	1		IJ	実績	9	8	6	-	-					
動		景観づくり重点推進地区での地域住民との協議回数												
指槽				目標										
行示	2			実績										
								•						
		地区計画・景観協定等の計画を進	地域	目標	2	2	2	2	4					
成	1	める地域数	地域	実績	2	2	2	-	-					
果		計画を進める地域数(令和3年度から景	観づくり相談会の実施	施回数とする)									
成果指標		まちなみ整備に係る改修工事補助	件	目標	4	4	3	0	0					
悰	2	件数	IT	実績	2	3	1	ı	-					
令和3年度から都市魅力づくり推進課に移管														

<5. 評価> CHECK

事業を明 社会環境	メッムヽ		統的建造物の保全の取り組みや歴史的なまちなみの整備を地域主体で進めることで景観まちづく いる。来訪者の増加や地域活性化への成果が認められる。					
これまで や改善等	の見直し 等の経過	景観形成・保全に向けた地域住民の合意形成には、地元の景観形成意識の高揚が求められることから、分かりや すいまちなみ修景の手引書づくりなど、継続性のある地域主体の景観形成施策を展開している。						
項目別評価	評	価	評 価 理 由					
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	_	ぎ妥当である まり妥当ではない	良好な景観形成・保全に向けた取り組みは地域主導が望ましいが、行政の支援により効率 的に進めることができる。また、まちなみ形成のルールづくりに伴う制限規定や指針等の 作成は行政が担うべき役割である。					
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ □ C. あま	がっている さ上がっている まり上がっていない がっていない	地域との連携により、まちなみ修景の手引書作成や修景補助に係る補助金要綱策定が進むなど、古都大津にふさわしい景観づくりのあり方の共通理解や景観形成の支援制度の整備が進んでいる。					
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高ル □ B. やヤ □ C. やヤ	o高い o低い	持続的な景観形成意識の高揚が、地域主導による景観施策の展開において重要となる。地 道ではあるが、地域の活動や他部局の事業を捉えた啓発活動を重要視することにより、着 実に事業が実施できている。					
総合評価		回どおり事業を進める 美規模や見直しが必要						
	■ A. 貢南	状している	景観まちづくり施策は、長期的な視点と継続的な活動により達成されるものであるが、現					

NE > C		景観まちづくり施策は、長期的な視点と継続的な活動により達成されるものであるが、現在の状況など、その基盤整備は着実に進んでおり、今後も当該事業の継続が求められる。				
	□ B. やや貝臥している					
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない					
	□ D. 貢献していない					

	口 2. 兵脈 5 (0 % 0)
< 6. 今後	後の方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止 景観づくり重点推進地区である堅田及び坂本地区において、景観協定区域等の拡大を促進する。また、近江新八景ルールの提言に基づく景観アドバイザー制度により、市民および事業者が実施する景観づくりを支援するとともに、草津市と共同で策定したびわこ東海道景観基本計画を両市の景観計画に反映し、良好な広域的景観資産を継承する。
部局長コメント	景観協定は、住民主導のもと地域の良好な景観の形成に有用であり、今後も景観づくり重点推進地区である堅田、坂本 地区をはじめ、各々の地域で景観形成の取り組みに対する啓発や適切な支援を行う。また、草津市とは広域的な景観形 成の観点から共同で策定したびわこ東海道景観基本計画に基づき、両市が連携して着実に景観施策を実行する。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
達成率	指標2	200.00 %	133. 33 %	300.00 %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	−50. 00 %	+66.66 %
活動単位	指標1	1,791 千円	2, 197 _{千円}	2, 445 _{千円}
コスト	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位	指標1	8,061 _{千円}	8, 789 _{千円}	7, 335 千円
コスト	指標2	8,061 千円	5,859 千円	14,671 千円
コスト増減率		- %	+14.51 %	-56.68 %

				, 令和 3年	·度 事務事業評価:	ンート	[[令和 2年度事後評価]
整理	番号	3	08					
部	司 名	都市計画	画部	所	福 名 都市計画課	所	属長	坂本 和好
事務事	事業名	00760	屋外広省	告物景観推進事業		記。	入者	伊藤 愛子
<1.	基本事	項>						
	区分	コード		名	称	1 8	+hn	大津市屋外広告物条例、
40 A =1	方針	02	自然、	歴史、文化、スポーツを	を重視し、多くの人が集うまちを創り			屋外広告物法等
総合計 画の位	政策	03	悠久の	歴史と文化を大切にし、	次代に継承します		13 -3	<u> </u>
置付け	施策	02	湖都に	ふさわしい景観づくり		88 14	<u>-</u> ⊨ 7	大津市景観計画
	視点	01	次代に	引き継ぐ景観づくり			連する 川計画	/
	重事	02	独自性的	のある屋外広告物施策 <i>の</i>	D推進	'	,	
田小市		ード		事務	务 事 業 名 称		ード	所属名称
関連 事業	00	759	都市景	観形成推進事業		1;	303	都市計画課
770	019	900	都市景	観施策促進事業		1;	303	都市計画課
予	会	計	枠	事業種別	予 算 事 業 名			始期 • 終期
算事	一般	会計	政策	評価対象事業	屋外広告物景観推進事業費			
事業								
未								
					士隊」の活動など、市民協働による取			
事業の					、無許可及び基準違反の屋外広告物に 。。また、景観保全型広告整備地区の指			
概要	努める。		~~~	, in the contract of the contr	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	,e • , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		>1 0.3(Mar) N = 1 =
	方 法	■ 直営		指定管理者 🛘 民間委	長託 □ 出資団体委託 □ 補助金	交付 口 その	か他 ()
<2.	事業分	析> 1	PLAN					
	目 的	j	歴史や	自然と調和した都市景観	規形成と良好な景観保全のため			
• • •	可のため							
	対 象	₹	屋外広行	告物及び屋外広告業者並	丘びに一般市民を対象			
(作	可又は誰	を)						
	手 段	Ž			な告物ガイドラインに基づく規制誘導、 ***			
(どのようなやり方で) よる違反広告物対策の展開。また、良好な景観を持つ地域に対し景観保全型広告整備地区への指定の検討							<u>い</u> への指定の検討	

(どのような状態にするのか) <3. 経費> DO

成 果

<u> </u>	性負/ ひひ						
		平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	, iii
直	接経費 A	2, 539	8, 744	2, 864	6, 378	7, 592	
人	、件 費 B	19, 146	19, 715	19, 188	21, 648	21, 648	
事業領	費合計 A+B	21, 685	28, 459	22, 052	28, 026	29, 240	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源内 訳	起 債	0	0	0	0	0	
r J H/X	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	21, 685	28, 459	22, 052	28, 026	29, 240	
職	員数(人)	5. 00	5. 05	4. 83	5. 13	5. 13	
DW = *b	正規	0. 80	0. 85	0. 85	1. 15	1. 15	
職員数 の内訳	嘱託	4. 00	4. 00	0.00	0.00	0.00	
22 , 3 LI/C	臨 時	0. 20	0. 20	3. 98	3. 98	3. 98	

適正な広告物の増加により、良好な景観保全を形成する

<4. 指標> DO

		指標名 単位 [目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		屋外広告物許可物件数	件	目標	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000
活	1		1+	実績	3, 083	3, 888	3, 014	-	_
動指		大津市屋外広告物条例に基づく屋外広告	物の許可に係る物件	数					
指		違反広告物に対する指導物件	件	目標	1, 000	1, 000	500	90	90
標	2		IT	実績	326	163	91	-	_
		許可申請において是正指導した件数及び	未申請の違反広告物口	こ対して指導	した件数				
		違反広告物除却物件数	<i>II</i> +	目標	1, 000	1, 000	500	100	100
戓	1		1+	実績	309	161	101	-	_
成 果		簡易除却制度を活用した除却件数(簡易	除却物件は、電柱に	占ってある、	違法なはり	紙・はり札等	≨)		
指		違反屋外広告物除却ボランティア	1	目標	400	400	300	300	300
標	2	登録者数	^	実績	390	253	253	-	_
		除却ボランティア「大津スッキリ士隊」	の登録者数						

< 5. 評価> CHECK

<u> </u>			
事業を明 社会環境	<u>^ </u>		取り組みにより、違反広告物の「はり紙」は減少している。しかし、依然として未 違反の広告物も存在するなどの課題を抱えている。
これまで	の元世し ーーー		職員による指導や除却で実施するほか、市民ボランティア団体組織との協働による
や改善等	等の経過 違反広告	・物の除却を継続して	実施している。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
	□ A. 妥当である		の主たる業務は法令等の規定による屋外広告物の許可及び屋外広告業登録の許認
妥当性	■ B. ほぼ妥当でる		、啓発事業により申請件数は目標を達成している。しかしながらいまだ違反広告 な存在し、指導を行っているが、通報やパトロールでの現状把握では不十分である
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あまり妥当 ⁻		代行任し、指導を17つでいるが、通報やハドロールでの現状把握ではハイガである と把握調査が必要である。
	□ D. 妥当ではなし		
有 効 性	□ A. 上がっている		ィア登録者数は、成果目標に達していないが、事業の目的である違反広告物の「
(事業分析の 「成果」欄に	■ B. やや上がっ ⁻	ている 【 ^{はり紙】}	の削減に寄与しており施策として非常に有効である。
記載の成果は上がっている	□ C. あまり上が・	っていない	
か)	□ D. 上がっていた	ない	
±1 ± 14	□ A. 高い		高働で違反広告物対策を行う等、市民ボランティア団体の活動を支援することによ
効 率 性 (事業手法は効	■ B. やや高い		この景観に対する意識啓発につながっている。また、事業者に対しては事前指導を により、自主的な改善を働きかけ、屋外広告物の規制誘導の効率的な実施に努め
率的である か。)	□ C. やや低い	ている。	には、り、日上的な収占と働きがり、圧が位占物の別的時の別年的な失心に対め
<i>(</i>), ()	□ D. 低い		
総合評価	□ 1. 計画どおり	事業を進めることが過	□ 2. 事業の進め方に改善が必要
	■ 3. 事業規模や	見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ Λ 青樹上でいる	ス 屋外広告	物は 暑観を構成する重要な要素であり 違反広告物除却活動とパトロールによ

*** ***		屋外広告物は、景観を構成する重要な要素であり、違反広告物除却活動とパトロールによ る継続的な違反広告物対策の実施によって、まちなみが保全され古都大津にふさわしい景
NESK OF	□ C. あまり貢献していない	観づくりに貢献している。
	□ D. 貢献していない	

<6. -	今後	その方向性> ACTION
		□ 1. 現状のまま継続 ■ 2. 見直しの上で継続 (■ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
		□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向	性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止
/J IPJ I		市民ボランティア団体との協働による簡易除却活動及び専任職員による違反対策や事前指導は継続し、合わせて維持管
		理に対する啓発活動も重点的に実施する。今後は市内の屋外広告物における現状調査を行い、違反物件の把握及び指導
		や観光地などエリアに対する規制方針を検討し、良好な景観の保全に貢献する。
	_	
部局		を継続した結果、違反広告物が減少し、良好な景観の形成を推進している。今後は、維持管理に関する啓発を行うとと
コメン		もに、違反広告物の現状把握を行うため、市域全体を対象として屋外広告物実態調査を計画的に実施していく。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	323.62 %	621.11 %	495. 04 %
達成率	指標2	97.50 %	63. 25 %	84. 33 %
成果	指標1	- %	+47.89 %	+37. 26 %
増減率	指標2	- %	−35.12 %	±0.00 %
活動単位	指標1	7 _{千円}	7 千円	7 千円
コスト	指標2	66 千円	174 _{千円}	242 _{千円}
成果単位	指標1	70 _{千円}	176 千円	218 _{千円}
コスト	指標2	55 千円	112 千円	87 _{千円}
コスト増	減率	- %	-24. 78 %	-23. 01 %

				,	3年	艾 	事業評価	レシート	[令和 2年	F度事後評価]
	番号		10								-
	品 名	都市計画			所属		つづくり推進課	所 原		中井 英	
事務事			歴史的貧	資源を活	かしたまちづくり)推進事業		記 記 え	人 首	石塚陽	石
< 1.	基本事					TL.		1		141-17-25	1. 7. EE D. 60 El 26
	区分	コード		- -	<u>名</u>	新 新	15# 2 + 4 + 4	根	拠	地域における歴史的風致 の維持及び向上に関する	
総合計	方針	02		-			が集うまちを創	り 法令		法律	01721-1217-0
画の位	政策	03				文代に継承します アイス				+n -+ - 1	
置付け	施策	02			ハ景観づくり				する		マスタープラン 化基本構想、歴
	視点	01			景観づくり			個別			維持向上計画
	重事	04	歴史と又	て化を活	かしたまちづくり						
関連		ード				事業名称			- 1	丹	「属名称
事業										<u> </u>	
		=1	±+.	+	₩ 15 Du	7	* * *	<i>h</i>		4/s #n	<i>45</i> ₩0
予		計	枠	-	業種別	予				始 期	• 終期
算 事	一般	会計	政策	評価対象	(争耒	歴史的資源を活	かしたまちづくり	推進事業費			
業											
	都市計画	ション	<u> </u> ープラン	のまたっ	こという日標に掲	げている 古郷	大津の自然、歴史	マンマン マンマン マンマン マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マ	<i>t-</i> 蛛 力	なこれるま	たづく
事業の概要	りの実現		良好な市				継承するため、第				
運 党	方 法	■ 直営	→ □	指定管理	理者 □ 民間委託	€ □ 出資団体	★委託 □ 補旪]金交付 □ その)什 ()
	事業分		PLAN			. онды	下文化 口 冊 9.		۱ تار		/
	目的				歴史的風致の維持	寺向上を図ること	を目的に				
(信	可のため	(=)									
	対	₹	重点地区	⋜である	「堅田地域」「場	页本地域」「大津	百町地域」を中の	ひに			
(作	可又は誰	を)									
	手 段	Ž	歴史的風	風致の維持	寺及び向上に資す	「る事業を実施す	ることで				
(どの。	ようなやり	り方で)									
	成 集	Į.	歴史まち	らづくり	こ対する地域住民	その機運が高まる					
(どのよう	うな状態に	するのか)									
<3.	経費>	DO									
			平成3	0年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		備	考
			決算額	(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)		m	.5
	接経費			338	431	15, 795	795	34, 640			
	、件 費			6, 314	9, 628	12, 300	11, 169	14, 039			
事業	費合計 /			6, 652	10, 059	28, 095	11, 964	48, 679			
		国		0	0	0	0	15, 450			
事業費 の財源		杲		0	0	0	0	0			
内訳		債		0	0	0	0	0			
		の他		0	0	0	0	0			
		財源		6, 652	10, 059	28, 095	11, 964	33, 229			
職		(人)		0. 77	1. 16	1. 50	1. 80	2. 15			
職員数		規		0. 77	1. 16	1. 50	1. 10	1. 45			
の内訳		託		0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00			
	臨	時		0.00	0.00	0.00	0. 70	0. 70			

臨時 <4. 指標> DO

		指標名単位		目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		市が支援するまちづくり活動		目標	0	6	2	3	3
活	1		IJ	実績	0	6	2	-	-
動指		R3~「地域人材活躍に対する支援事業	実施回数」(単位:[回)に変更	,			•	
指揮		歴史まちづくり法の取組に係る庁		目標	8	6	4	1	2
標	2 内会議及び法定協議会の開催数		IJ	実績	8	6	5	-	-
		歴史的風致維持向上計画の策定に向けた	庁内会議及び法定協調	議会の開催数	Į.				
		地域住民主体の地域活性化に向け		目標	0	0	0	3	5
成果指	1	たまちづくり活動	II.	実績	0	0	0	-	-
果		R3~「まちなみ修景整備に係る補助件	数」(単位:件)に	変更	,				
指揮		歴史的風致維持向上計画策定の進	%	目標	55	75	100	0	0
標	2	捗率	70	実績	35	75	100	_	_
		各年度予算額(執行額)/全体予定額	【R3年度以降廃止】						

<5. 評価> CHECK

事業を耳 社会環境		大津市の歴史・文化 を後世に継承する必	・伝統を基軸に、歴史的風致を守り育て、大津市民一人ひとりが誇りと愛着を持ってこれら 要がある。
これまで や改善等			成29年度にかけて基礎調査を実施した。平成30年度から令和2年度までの3ヵ年で、大 向上計画を策定した。
項目別評価		評価	評 価 理 由
	■ A.	妥当である	地域における歴史と伝統を反映した人々の営みと、歴史的価値の高い建造物及びその周辺
妥当性	□ B.	ほぼ妥当である	の市街地とが一体となった歴史的風致を維持向上することを目的に、都市計画マスタープ ランのまちづくりの目標に合致した歴史的風致維持向上計画を策定した。
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C.	あまり妥当ではない	プラのようラくりの自信に自致した歴史的風致維持向工計画を束足した。
	□ D.	妥当ではない	
有効性	■ A.	上がっている	歴史的資源の掘り起こしを計画としてまとめることは、住民の歴史まちづくりへの意識の
(事業分析の 「成果」 欄に	□ В.	やや上がっている	向上に繋がるものである。
記載の成果は	□ C.	あまり上がっていない	
上がっている か)	□ D.	上がっていない	
41	■ A.	高い	歴史的資源である地域における歴史と伝統を反映した人々の営みをもれなく掘り起こすこ
効 率 性 (事業手法は効	□ B.	やや高い	とができるよう、市全域の歴史まちづくりに寄与する団体から意見聴取を実施できている
率的である	□ C.	やや低い	
か。)	□ D.	低い	
総合評価	1 .	計画どおり事業を進める	ることが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
松口計画	□ 3.	事業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A.	貢献している	地域特性を活かしたまちづくりを進めるためには、住民が主体となって取り組むことが重要なれる。原の特別の機能は、自己では、これ、ことが、大きには、ことが、大きには、ことが、大きには、ことが、大きには、ことが、大きには、ことが、大きには、ことが、大きには、ことが、ことが、ことが、ことが、ことが、ことが、ことが、ことが、ことが、ことが
施策への	□ B.	やや貢献している	要である。歴史的風致維持向上計画を策定することで、そうした住民主体の取り組みに対する支援が可能となることから、地域のまちづくりに対する機運が高まることが期待され
貢 献 度	□ C.	あまり貢献していない	う。
	□ D.	貢献していない	

	□ D. 貢献していない
<6. 今後	その方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 0. 条止 □ 1. 放充・重点化 □ 1. 放充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 1. 放充・重点化 □ 1. 放充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-5. 統合 □ 2-5. 依止 □ 3. 核期の設定 □ 4. 終了 (□ 1. 域元・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-5. 統合 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 □ 2-6. その他 □ 2-6. を止
77 PA 12	策定した歴史的風致維持向上計画に基づく事業を、地域の意見も踏まえて順次実施していくことで、本計画並びに大津 の歴史的な魅力の周知・啓発を図るとともに、歴史まちづくりに対する地域住民の機運を醸成していく。
部 局 長 コメント	歴史的風致維持向上計画において位置づけらた事業を推進することにより、歴史・文化遺産やそれらを取り巻く伝統行 事などの人々の営みを活かしたまちづくりを推進し、訪れる人を増やし経済活動を活発にして賑わいを創出する。

く7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	0.00 %	0.00 %	0.00 %
達成率	指標2	63. 63 %	100.00 %	100.00 %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	+114. 28 %	+33. 33 %
活動単位	指標1	0 千円	1,676 千円	14, 047 _{千円}
コスト	指標2	831 千円	1,676 千円	5,619 _{千円}
成果単位	指標1	0 _{千円}	0 _{千円}	0 _{千円}
コスト	指標2	190 千円	134 千円	280 千円
コスト増	減率	- %	-22. 07 %	+82.10 %

令和 3年度 事務事業評価シート [令和 2年度事後評価]

対														
部 局 名 教育委		教育委員	<u></u> 会			所 属 名 文化財保護課			所属	所属長 山口 秀一				
M		伝統的建造物群保存対策推進事業						記力		<u></u> 畐田 敬				
			コード				<i>b</i>		环			17	ケルサクジ	養法、伝統的建
		区分		11							根			表达、 区机的建 异地区保存条例
4/\ A	-L	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り 悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します							法令		、補助金等交付規則	
総合画の	(計)	政策	03	悠久の	歴史と文化	上を大切にし	し、次	代に継承し	.ます					
置付		施策	02	湖都に	ふさわしし	ハ景観づく「	IJ					4 7		
<u> </u>	,	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり										
		重事	03	伝統的發	津告物群	果存地区の何	保存				1回 かり	計画		
重事 03 伝統的建造物群保存地区の保存 コード 事務事業名称								- K	所	属名称				
関	連	ı	'			Ŧ	127	平 木 1	101			_	171	海 口 小
事	業													
		<mark> </mark>										(b		
子	;		計	枠	事	業 種 別			予算	事 業 名			始期•	終期
算 一般会計			会計	政策	評価対象	事業	1	伝統的建造物	物群保存対策	推進事業費	ŧ			
事	1													
業														
		坂本伝統	建地区は	、平成 9	年10月	3 1日付け	ナで国の	の重要伝統的	的建造物群保	存地区に選	選定された。「	穴太衆積	み」で知り	られる
車業	ŧΦ										こられており、			
事業 概	785					れる庭木や	き主屋	が重層的に複	複合した外観	を形成して	こいる。この景	観を保全	し、坂本	らしい
1696	×	まちづく	、りを進	めていく	. 0									
	,,,									1				
		方法				■者 □ 民	間委託	: 口出資	資団体委託	■ 補助金	≧交付 □ その	他()
< 2	2. :	事業分	折> F	PLAN										
		目 的]	坂本地	区の景観	呆全のために	IC.							
	(何	」のためI	こ)											
		対 象		伝統的發	建造物群值	呆存地区内(の建造	物群等を対	象に					
	(右	又は誰	左)											
		手 段	<u> </u>	補助全 2	を交付する	ること等に。	<u></u> ⊢ Ս							
			•	LHI POJ JIZ. (2 2 13 3 1	0 C C 71C	5 7							
(2		ようなやり		1- 4+ 44.7	土、什 44 コ ¥ -	<i>+ 1</i> 0	11k 1 -1 k 40	#### ### ## ## ### ### ### ### ### ###	知力 軟件十二	7				
		成 果		伝統的類	建造物群	を保全し、エ	地域の)特色ある景	·観を整備する	5 .				
(どの	のよう	な状態にす	するのか)											
< 3	3. i	経費>	DO											
				平成3	80年度	平成31年	度	令和 2年月	度 令和	3年度	令和 4年度		144	Ļ
				決算額	〔(千円)	決算額(千	円)	決算額(千日	円) 予算額	(千円)	見込額(千円)		備	考
	直	接経費	A		2, 172	6	5, 701	2	206	8, 344	14, 658			
		件費			4, 703			·	200	0, 544				
=		貴合計 4			4, 703			2	0.42	2 042				
手	+未1		1 T D		0 075		5, 585		843	3, 843	3, 843			
<u> </u>	. 				6, 875	12	2, 286	6,	049	12, 187	3, 843 18, 501			
争ま			E		6, 875 1, 006	12	2, 286 3, 325	6,		12, 187 4, 021	3, 843			
内	打造	ļ	E R			12	2, 286	6,	049	12, 187	3, 843 18, 501			
	打派 訳	ļ	E		1, 006	12	2, 286 3, 325	6,	. 049	12, 187 4, 021	3, 843 18, 501 11, 698			
	費源訳	起	E R		1, 006 0	12	2, 286 3, 325 0	6,	049	12, 187 4, 021 0	3, 843 18, 501 11, 698 0			
	資源 訳	起	国 計 債 D他		1, 006 0 0	12 3	2, 286 3, 325 0	6,	049 078 0	12, 187 4, 021 0	3, 843 18, 501 11, 698 0			
		リ 起 その 一般	国 是 債 D他 財源		1, 006 0 0 0 5, 869	12 3	0, 286 0 0 0 0 8, 961	6, 1,	049 078 0 0 0 0	12, 187 4, 021 0 0 0 0 8, 166	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 0 6, 803			
耶	戦 .	起 その 一般 員 数	国 責 D他 財源		1, 006 0 0 0 5, 869 0. 65	12 3	2, 286 0 0 0 0 8, 961	6, 1, 4,	049 078 0 0 0 0 971	12, 187 4, 021 0 0 0 0 8, 166	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803			
耶	戦 .	起 その 一般 員 数 正	国 信 D他 財源 (人)		1, 006 0 0 0 5, 869 0. 65 0. 55	12 3	2, 286 3, 325 0 0 0 3, 961 0. 75 0. 65	6, 1, 4, C C C	049 078 0 0 0 0 971 0. 50 0. 45	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45			
耶	戦 .	リール を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	国 信 D他 財源 (人) 規		1, 006 0 0 0 5, 869 0. 65 0. 55	12 3	2, 286 3, 325 0 0 0 8, 961 0. 75 0. 65 0. 00	4, 00	049 078 0 0 0 0 971 0. 50 0. 45 0. 00	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00			
職員の内	戦数訳	リ 起 その 一般 員 数 正 嘱	国 債 D他 財源 (人) 規 託 時		1, 006 0 0 0 5, 869 0. 65 0. 55	12 3	2, 286 3, 325 0 0 0 3, 961 0. 75 0. 65	4, 00	049 078 0 0 0 0 971 0. 50 0. 45	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45			
職のく	戦数訳	リール を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	国 信 D他 財源 (人) 規		1, 006 0 0 0 5, 869 0. 65 0. 55	12 3	2, 286 3, 325 0 0 0 8, 961 0. 75 0. 65 0. 00 0. 10	6, 1, 4, 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	049 078 0 0 0 971 0.50 0.45 0.00 0.05	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00			
職のと	戦数訳	起 その 一般 黄 正 嘱 臨 上 [標本]	国	標	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 8, 961 0. 75 0. 65 0. 00	4, 00	049 078 0 0 0 0 971 0. 50 0. 45 0. 00	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05			3年度 令和 4年度
職のく	戦数訳	世 を を を を を を を を を を を を を	国 は し は は は は は は は は は は は は は	造物等σ	1, 006 0 0 5, 869 0. 65 0. 55 0. 00 0. 10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0 3, 961 0. 75 0. 65 0. 00 0. 10	6, 1, 4, C C C C	049 078 0 0 0 971 0.50 0.45 0.00 0.05	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00		度 令和: 2	3年度 令和 4年度 2 2
職のく	戦数訳	世 を を を を を を を を を を を を を	国	造物等σ	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0 3, 961 0. 75 0. 65 0. 00 0. 10	6, 1, 4, 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	049 078 0 0 0 971 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05			
職のく	戦 数 引訳	世 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	国 情 D他 財 が 財 が 規 託 時 DO 指 の 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造物等 <i>σ</i>)	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0, 75 0, 65 0, 00 0, 10	6, 1, 4, C C C C	049 078 0 0 0 0 971 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05			
職のく	戦 数 引訳	世 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	国 情 D他 財 が 財 が 規 託 時 DO 指 の 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造物等 <i>σ</i>)	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0, 75 0, 65 0, 00 0, 10	6, 1, 4, C C C C	049 078 0 0 0 971 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05			
職のく	職 数訳 1. / 1	世 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	国 情 D他 財 が 財 が 規 託 時 DO 指 の 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造物等 <i>σ</i>)	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0, 75 0, 65 0, 00 0, 10	6, 1, 4, C C C C	049 078 0 0 0 0 971 0.50 0.45 0.00 0.05 目標・実績 目標 実績	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05			
職のく	戦 数 引訳	世 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	国 情 D他 財 が 財 が 規 託 時 DO 指 の 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造物等 <i>σ</i>)	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0, 75 0, 65 0, 00 0, 10	6, 1, 4, C C C C	049 078 0 0 0 971 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05			
職のく	数112	起	国 は 使 D他 が が は の は の は の は の は の の の の の の の の の の の の の	造物等の) ける修理	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0, 75 0, 65 0, 00 0, 10	6, 1, 4, C C C C	049 078 0 0 0 971 0.50 0.45 0.00 0.05 目標・実績 目標 実績	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05 g 平成31年度 3 4 1 1	令和 2年	2 1	2 2
職のく	数112	世 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	国 は 使 D他 が が は の は の は の は の は の の の の の の の の の の の の の	造物等の) ける修理	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0, 75 0. 65 0. 00 0. 10	6, 1, 0 0 0 0 0	049 078 0 0 0 0 971 0.50 0.45 0.00 0.05 目標・実績 目標 実績	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05 E 平成31年度 3 4 1 1	令和 2年	2 1	
職のく	数112	起	国 は 使 D他 が が は の は の は の は の は の の の の の の の の の の の の の	造物等の) ける修理	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10	8	2, 286 3, 325 0 0 0 0, 75 0. 65 0. 00 0. 10	6, 1, 4, C C C C	049 078 0 0 0 971 0.50 0.45 0.00 0.05 目標・実績 目標 実績	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05 E 平成31年度 3 4 1 1	令和 2年	2 1	2 2
職のく	1 2 1	是	国 情 の 大 の は の は の は の は の は の の の の の の の の の の の の の	造物等の ける修理 進捗	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10 8 0修理修异	8	2, 286 3, 325 0 0 0 3, 961 0. 75 0. 65 0. 00 0. 10	6, 1, 00 00 00 位	049 078 0 0 0 971 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05 B標 実績 目標 実績	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05 E 平成31年度 3 4 1 1	令和 2年	2 1	2 2
職のく	1 2 1	是	国 情 の 大 の は の は の は の は の は の の の の の の の の の の の の の	造物等の ける修理 進捗	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10 8 0修理修异	12 3 8 8 第業に対して	2, 286 3, 325 0 0 0 3, 961 0. 75 0. 65 0. 00 0. 10	6, 1, 00 00 00 位	049 078 0 0 0 971 0.50 0.45 0.00 0.05 1	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05 E 平成31年度 3 4 1 1	令和 2年	2 1	2 2
職員の内	1 2 1	是	国 情 の 大 の は の は の は の は の は の の の の の の の の の の の の の	造物等の ける修理 進捗	1,006 0 0 5,869 0.65 0.00 0.10 8 0修理修异	12 3 8 8 第業に対して	2, 286 3, 325 0 0 0 3, 961 0. 75 0. 65 0. 00 0. 10	6, 1, 00 00 00 位	049 078 0 0 0 971 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05 B標 実績 目標 実績	12, 187 4, 021 0 0 0 8, 166 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05	3, 843 18, 501 11, 698 0 0 0 6, 803 0. 50 0. 45 0. 00 0. 05 E 平成31年度 3 4 1 1	令和 2年	2 1	2 2

<5. 評価> CHECK

	事業を取りまく 社会環境の状況 本事業は文化財保護法の規定に基づく「伝統的建造物群保存地区」の保存事業として取り組んでいるが、町並み 保存を含めた景観整備及び観光資源としての活用は、市政全体の重要課題である。							
これまで や改善等	たっては、老朽化の度合に基づく優先順位と、より効果が認められる対象 (目立つ場所に所 を選択しながら実施している。							
項目別評価		評価	評 価 理 由					
	■ A. 妥当である		地区住民・所有者の理解と協力のもと、国の選定を受けた伝統的建造物群保存地区での修					
妥当性	□ B.	ほぼ妥当である	理修景事業として、5割の国庫補助を受け実施している。					
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C.	あまり妥当ではない						
	□ D.	妥当ではない						
有効性	■ A.	上がっている	地区内の修理修景事業が順調に実施され、町並みが保存されている。					
(事業分析の 「成果」欄に	□ B.	やや上がっている						
記載の成果は上がっている	□ C.	あまり上がっていない						
上かっているか)	□ D.	上がっていない						
41 - 10	■ A.	高い	所有者の事業申出から事業の採択・実施に至るまで、効率よくすすめられている。					
効 率 性 (事業手法は効	□ B.	やや高い						
率的である	□ C.	やや低い						
か。)	□ D.	低い						
総合評価	1 .	計画どおり事業を進める	・ ことが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要					
松口計画	□ 3.	事業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要					
	■ A.	貢献している	修理修景事業を実施し、古都の風格を感じさせる伝建地区の町並みを保存することで、豊かなが開きませる。					
施策への	□ B.	やや貢献している	かな文化財を有する本市のまちづくりに寄与している。					
貢献度	□ C.	あまり貢献していない						
	□ D.	貢献していない						

< 6. 今後	後の方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了(□ 5. 休止 □ 6. 廃止 地区住民や所有者等の理解と協力を得ながら、坂本の伝統的な町並みの保存を図る。 今後とも、所有者の意向調査をもとに、効果的な補助事業の実施に向けて、所有者との丁寧な相談に応じていく。
部 局 長コメント	坂本地区は、優れた美しい自然と、数多くの歴史的文化遺産に恵まれ、当地独自の歴史的空間(里坊群)を形成している。地区には補助事業の対象となる建造物等が多数所在していることから、地区住民や所有者と十分協議しながら、計画的に事業を進める必要がある。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

7 · ·				
区分		平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	98.00 %	94. 58 %	92. 59 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	+1.02 %	+1.01 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	6,875 千円	12, 286 _{千円}	6,049 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	233 千円	413 千円	201 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	+76.90 %	−51.25 %